

関西社会学会役員選挙規則

昭和 32 年 10 月 26 日制定
昭和 48 年 5 月 19 日改正
昭和 49 年 5 月 1 日施行
昭和 63 年 5 月 28 日改正
平成 12 年 5 月 27 日改正
平成 14 年 5 月 24 日改正

1. 役員選挙は、選挙権を有する会員の直接選挙によりこれを行う。
2. 選挙権ならびに被選挙権を有する者は、前年度まで会費を完納した会員に限る。
ただし、選挙時に役員の数、および通算 4 期役員をつとめた者は被選挙権を有しない。
3. 役員の数に次のとおりとする。
 - (1) 選出される理事の定数は 19 名とする。全地域を次の 4 地区に分け、各地区の会員数(選挙年の 4 月 1 日現在)に応じて按分する。
 - A 地区 (富山県・石川県・福井県・岐阜県・三重県・愛知県以東)
 - B 地区 (滋賀県・京都府)
 - C 地区 (奈良県・和歌山県・大阪府)
 - D 地区 (四国各県、兵庫県以西)
 - (2) 監事の定数は 2 名とし、地区にかかわらず全地域より選出する。
4. (1) 理事および監事は、それぞれ 1 研究機関につき 1 名をこえることはできない。
 - (2) 同一人が理事と監事双方に選出された場合は、理事として認め、監事には監事選挙の次点者を繰り上げる。
 - (3) 同一得票数の場合は年長順とする。
5. 投票は所定の投票用紙を用い、無記名で郵送により行う。
6. 選挙は選挙管理委員会の管理のもとに行う。選挙管理委員は 4 名とし、選挙の行われる年の最初の理事会の議を経て、会長がこれを委嘱する。
7. 選挙管理委員会は、選挙の実施に関し次の事項を審議する。
 - (1) 選挙人および被選挙人名簿の発送日、名簿への異議申し立て期間、投票用紙の発送日、投票締め切り日等の選挙の日程。
 - (2) 委員会は、役員選挙に関する日程を決定した場合は、関西社会学会ニュースへの記載その他の方法により、全員にこれを周知させなければならない。
 - (3) 選挙人および被選挙人名簿について会員の異議申し立てがあった場合には、委員会はその内容につき審議し、その結果を投票用紙発送の時点までに申し立てを行った会員および必要に応じて選挙人および被選挙人に通知しなければならない。
8. 投票は、締め切り日当日の消印のあるものまで有効とする。